



# 2017年度 決算説明会

2018年5月25日

株式会社 A D E K A  
証券コード 4 4 0 1

# 2017年度 決算説明

〔2017年4月～2018年3月〕

代表取締役社長 郡 昭夫

# 目次

1. 2017年度 連結業績
2. 2018年度 連結業績予想
3. 2018年度 事業施策
4. ご参考
  - ・ 2018年標語
  - ・ 海外売上高

# 1. 2017年度 連結業績

# 2017年度 連結業績の概要

## 連結

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,234	2,396	161	7.2
営業利益	210	213	2	1.4
経常利益	218	223	4	2.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	153	153	0	0.1
1株当たり純利益 (円/株)	149.0円	149.2円	0.2円	
配当金 (円 / 株)	35円	39円	4円	

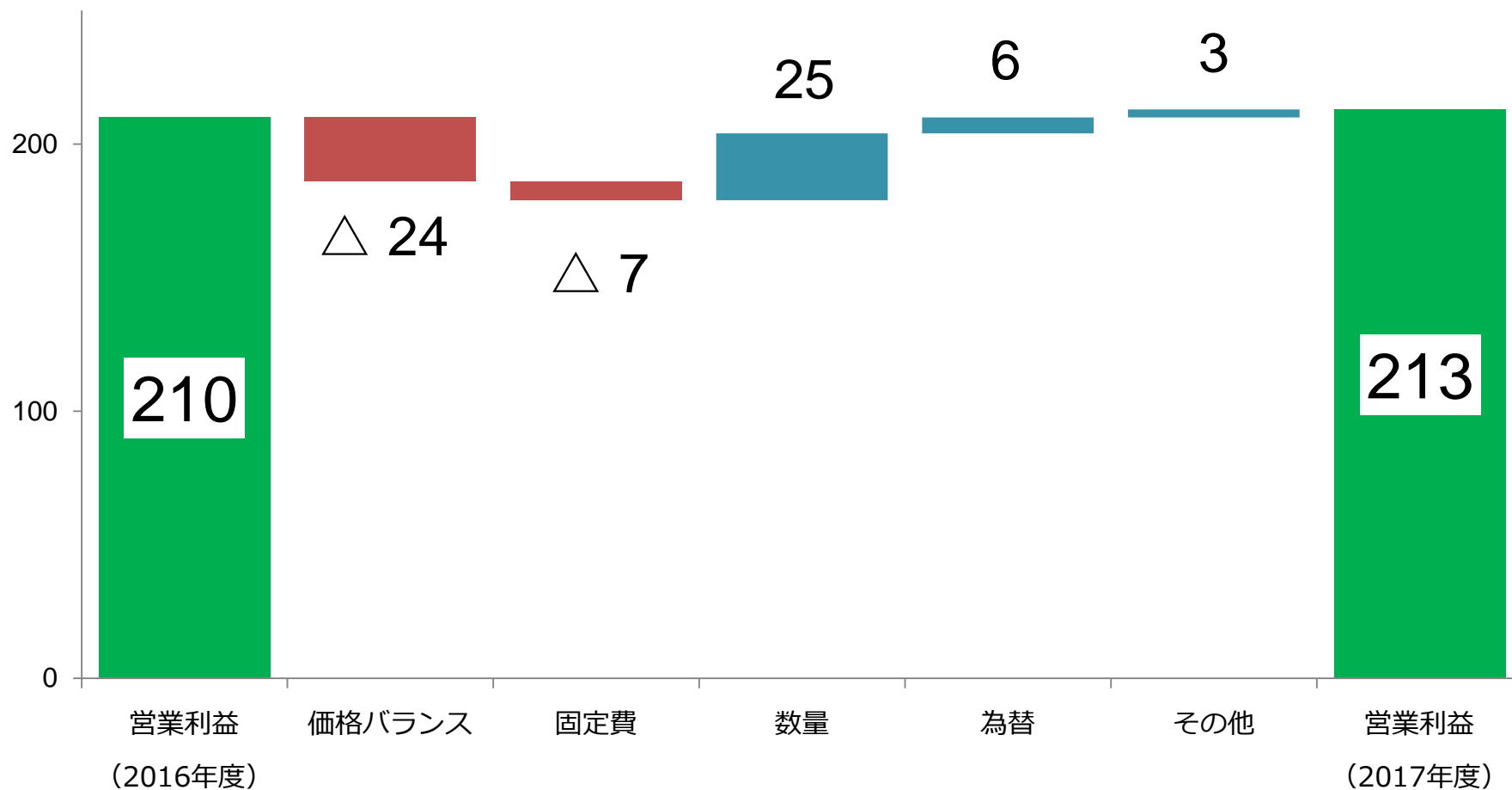
- 売上高、営業利益、経常利益、純利益のいずれも3期連続で過去最高を更新（6期連続の増収増益）。
- 売上高は化学品・食品ともに販売が好調に推移し増収となったが、営業利益は原料等コストアップの影響や積極的な設備投資による固定費の増加により、微増となった。
- 配当は、今年度の業績、財務状況などを総合的に勘案し、当初予想（2017年5月11日）から4円増配し、1株につき39円/年とした。

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 営業利益の増減分析

連結

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

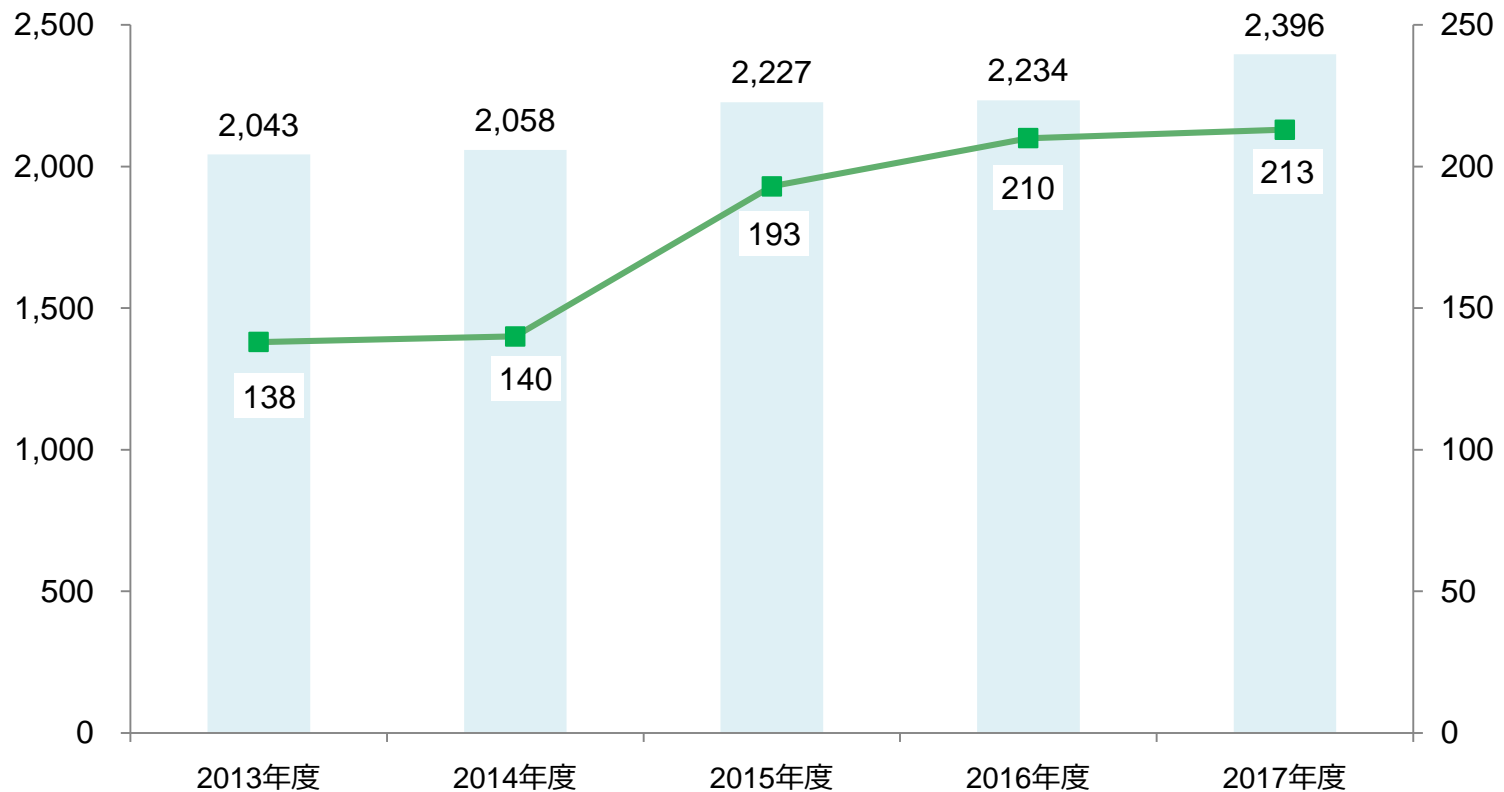
# 連結業績推移

## 連結

売上高：億円

売上高 営業利益

営業利益：億円



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2017年度 連結業績(セグメント別数値)

(単位：億円)

## 連結

	2016年度	2017年度	増減	増減率(%)
売上高	2,234	2,396	161	7.2
<b>化学品</b>	1,476	1,585	109	7.4
情報・電子化学品	197	233	35	18.0
機能化学品	1,104	1,171	66	6.0
基礎化学品	174	181	7	4.1
<b>食品</b>	664	698	34	5.2
<b>その他</b>	93	111	17	19.0
営業利益	210	213	2	1.4
<b>化学品</b>	183	197	13	7.5
情報・電子化学品	29	52	22	77.2
機能化学品	122	118	△ 4	△ 3.3
基礎化学品	31	26	△ 5	△ 15.9
<b>食品</b>	22	13	△ 8	△ 38.0
<b>その他</b>	4	2	△ 2	△ 49.0

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



# セグメント情報 / 化学品事業(情報・電子化学品)

## 連結

### 情報・電子化学品(増収・増益)

1. 情報化学品は、液晶ディスプレイの高精細化や好調な半導体市場の需要を捉え、光学フィルムやフォトレジストに使用される光硬化樹脂、光開始剤及びレジスト樹脂の販売が好調に推移した。
2. 電子材料は、データセンター向けなどを中心に旺盛なメモリ需要が続き、DRAMや3D-NANDに使用される誘電材料の販売が好調に推移した。また、プリント基板やリードフレームのエッチング向けに回路材料の販売が国内で堅調に推移した。

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
売上高	197	233	35
営業利益	29	52	22

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業(機能化学品)

## 連結

### 機能化学品 (増収・減益)

1. 樹脂添加剤は、自動車等に使われる合成樹脂の生産拡大を背景に、光安定剤、酸化防止剤等のポリオレフィン向け添加剤の販売が国内外で好調に推移した。また、塩ビ向け可塑剤・安定剤の販売も国内外で堅調に推移した。
  2. 界面化学品は、自動車エンジンオイル向け潤滑油添加剤が国内外で普及拡大したことにより販売が好調に推移した。また、塗料・粘接着剤向け反応性乳化剤や化粧品向けグリコール系保湿剤の販売が海外を中心に堅調に推移した。
  3. 機能性樹脂は、電子部品の接着用途や自動車の構造接着剤向け特殊エポキシ樹脂及び塗料用を中心に水系樹脂の販売が好調に推移した。
- ◆ 機能化学品全体で原材料価格上昇の影響を大きく受けた。

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
売上高	1,104	1,171	66
営業利益	122	118	△ 4

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業(基礎化学品)

## 連結

### 基礎化学品 (増収・減益)

1. プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品や加熱式たばこ用途での需要が底堅く推移し、販売が堅調に推移した。
  2. 過酸化水素は、液晶ディスプレイの電子回路用途などに同誘導品が拡大し、販売が堅調に推移した。
- ◆ 基礎化学品全体で原材料及び燃料価格上昇の影響を大きく受けた。

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
売上高	174	181	7
営業利益	31	26	△ 5

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 食品事業

## 連結

### 食品（増収・減益）

1. 国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類、ホイップクリーム等の販売が好調に推移した。
  2. 海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大した。
- ◆ 食品事業全体で油脂や乳原料などの原材料価格上昇の影響を大きく受け、販売価格の改定に努めたが減益となった。

（単位：億円）

	2016年度	2017年度	増減
売上高	664	698	34
営業利益	22	13	△ 8

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 2. 2018年度 連結業績予想

# 2018年度 連結業績予想

## 連結

(単位：億円)

	2018年度			対前年度 増減	増減率 (%)
	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)		
売上高	1,270	1,320	2,590	193	8.1
営業利益	103	118	221	7	3.6
経常利益	106	126	232	8	3.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	88	159	5	3.6
1株当たり純利益 (円/株)	69.0円	85.5円	154.5円	5.3円	
配当金 (円 / 株)	21円	22円	43円	4円	

		2018年度上期の前提		2017年度実績	
為替	円/\$		110.00		110.85
	円/€		133.00		129.70
ナフサ	円/KL		50,000		41,925

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 事業セグメントの変更

- 機能化学品に含まれていた「樹脂添加剤」を新サブセグメントとする。
- 新サブセグメント「機能化学品」は界面化学品、機能性樹脂、基礎化学品から構成される。

【旧セグメント】

セグメント	2017年度 売上高（億円）
<b>化学品</b>	<b>1,585</b>
情報・電子化学品	233
機能化学品	1,171
樹脂添加剤	825
界面化学品	346
機能性樹脂	
基礎化学品	181
<b>食品</b>	<b>698</b>
<b>その他</b>	<b>111</b>

【新セグメント】

セグメント	2017年度 売上高（億円）
<b>化学品</b>	<b>1,585</b>
樹脂添加剤	825
情報・電子化学品	233
機能化学品	527
<b>食品</b>	<b>698</b>
<b>その他</b>	<b>111</b>

独立

統合

注) 2018年度 第1四半期の決算発表（8月3日予定）から、新セグメントを用いて開示予定。

# 2018年度 連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

## 連結

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,270	1,320	2,590	2,396	193	8.1
<b>化学品</b>	862	888	1,750	1,585	164	10.3
樹脂添加剤	445	460	905	825	79	9.6
情報・電子化学品	120	125	245	233	11	5.1
機能化学品	297	303	600	527	72	13.8
<b>食品</b>	358	382	740	698	41	5.9
<b>その他</b>	50	50	100	111	△ 11	△ 10.3
営業利益	103	118	221	213	7	3.6
<b>化学品</b>	98	104	202	197	4	2.5
樹脂添加剤	35	36	71	73	△ 2	△ 3.1
情報・電子化学品	31	32	63	52	10	20.0
機能化学品	32	36	68	71	△ 3	△ 4.7
<b>食品</b>	4	13	17	13	3	22.6
<b>その他</b>	1	1	2	2	△ 0	△ 13.8

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



### 3. 2018年度 事業施策

# 2018年度 事業施策

## 樹脂添加剤

- ポリオレフィン樹脂向け添加剤は、設備増強した核剤／透明化剤、光安定剤など高機能品とワンパック顆粒添加剤など汎用製品の拡販に注力する。
- 塩ビ用可塑剤・安定剤は、世界的に堅調な塩ビ需要を捉え、特にアジアの自動車向けに拡販する。
- 難燃剤は、既存顧客への拡販と新規顧客の開拓を推進する。

## 情報・電子化学品

- 情報化学品は、光学フィルム向け光硬化樹脂をアジア・日本を中心に拡販するとともに、カラーフィルター向け光重合開始剤、半導体フォトレジスト向け光酸発生剤の新製品を投入し、採用拡大を目指す。
- 電子材料は、旺盛な需要が続くDRAM、3D-NAND、ロジック半導体向けに高誘電材料などの半導体材料を拡販するとともに、液晶ディスプレイ向けエッチング薬液の早期実需化を目指す。

## 機能化学品

- 界面化学品は、自動車の燃費向上に貢献するエンジンオイル添加剤、REACH登録を完了した化粧品原料及び粘接着剤用途で採用拡大が続く反応性乳化剤を欧州・アジア・日本を中心に拡販する。
- 機能性樹脂は、自動車、電気・電子分野をターゲットとした特殊エポキシ樹脂の採用拡大を目指すとともに、グローバル生産体制の構築を推進する。
- 基礎化学品は、原料価格上昇に対応し収益性の改善を図るとともに、過酸化水素の誘導品や日用品用途でのプロピレングリコールを拡販し、事業基盤の強化を図る。

## 食品

- 国内は、製パン・製菓・洋菓子市場で戦略製品・新製品を拡販し、事業基盤を強化すると同時に、品種統合や生産効率化等を推進し、収益性の改善に努める。また、機能性素材の用途開発による拡販を目指す。
- 海外は、中国で新規顧客の開拓及びマーケティングの強化を図るとともに、シンガポールで設備増強した加工食品の拡販、マレーシアで重点顧客への販売を強化し、事業規模・利益ともに拡大させる。

## 4. ご参考

## 2018年標語(ご参考)

**未来を拓け**

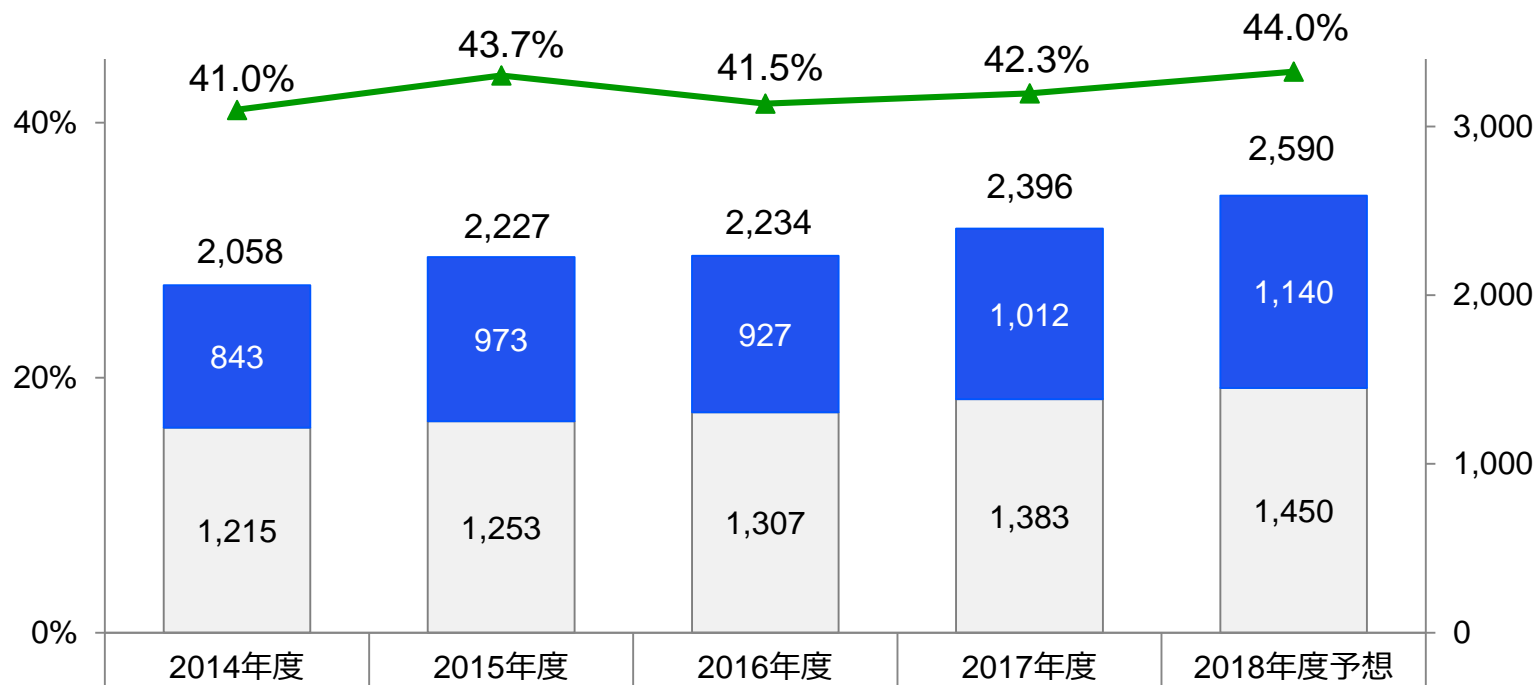
**ADEKAの技術**

**一人ひとりが**

**チャレンジャー**

# 海外売上高(ご参考)

(単位：億円)



■ 海外売上高	843	973	927	1,012	1,140
■ 国内売上高	1,215	1,253	1,307	1,383	1,450
▲ 海外売上高比率	41.0%	43.7%	41.5%	42.3%	44.0%
売上高	2,058	2,227	2,234	2,396	2,590

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2017年度 決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
  - 単独・連結子会社の決算概要
  - ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
  - 事業区分別主力製品

取締役常務執行役員 富安 治彦

## I-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2017.3.31現在)	当連結会計年度 (2018.3.31現在)	前年度比 増減
<b>資産の部</b>			
流動資産 ①	155,901	166,841	10,939
固定資産	134,583	146,079	11,495
有形固定資産 ②	80,121	85,546	5,424
無形固定資産	3,982	4,080	98
投資その他の資産 ③	50,479	56,452	5,972
資産合計	290,485	312,920	22,435
<b>負債の部</b>			
流動負債 ④	67,845	75,816	7,971
固定負債 ⑤	34,682	32,015	△ 2,666
負債合計	102,528	107,832	5,304
<b>純資産の部</b>			
株主資本	166,755	178,363	11,607
資本金	22,899	22,944	44
資本剰余金	19,926	19,985	58
利益剰余金	124,520	135,988	11,467
自己株式	△ 590	△ 554	36
その他の包括利益累計額	13,321	18,256	4,934
その他有価証券評価差額金	8,919	12,002	3,083
土地再評価差額金	4,276	4,276	—
為替換算調整勘定	2,604	4,346	1,741
退職給付に関する調整累計額	△ 2,477	△ 2,368	109
非支配株主持分	7,879	8,468	589
純資産合計	187,956	205,088	17,131
負債及び純資産合計	290,485	312,920	22,435

POINT①

流動資産の増加

受取手形及び売掛金の増加 5,146百万円

POINT②

有形固定資産の増加

機械装置及び運搬具の増加 3,210百万円

POINT③

投資その他の資産の増加

投資有価証券の増加 4,063百万円

POINT④

流動負債の増加

支払手形及び買掛金の増加 5,454百万円

POINT⑤

固定負債の減少

長期借入金の減少 △ 4,118百万円

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 169,129百万円

## I-2. キャッシュフロー計算書(要約)

連結

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,183	22,221
投資活動によるキャッシュ・フロー ①	△ 16,666	△ 19,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,805	△ 5,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,019	883
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	692	△ 1,860
現金及び現金同等物の期首残高	49,981	50,762
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	89	—
現金及び現金同等物の期末残高	50,762	48,902

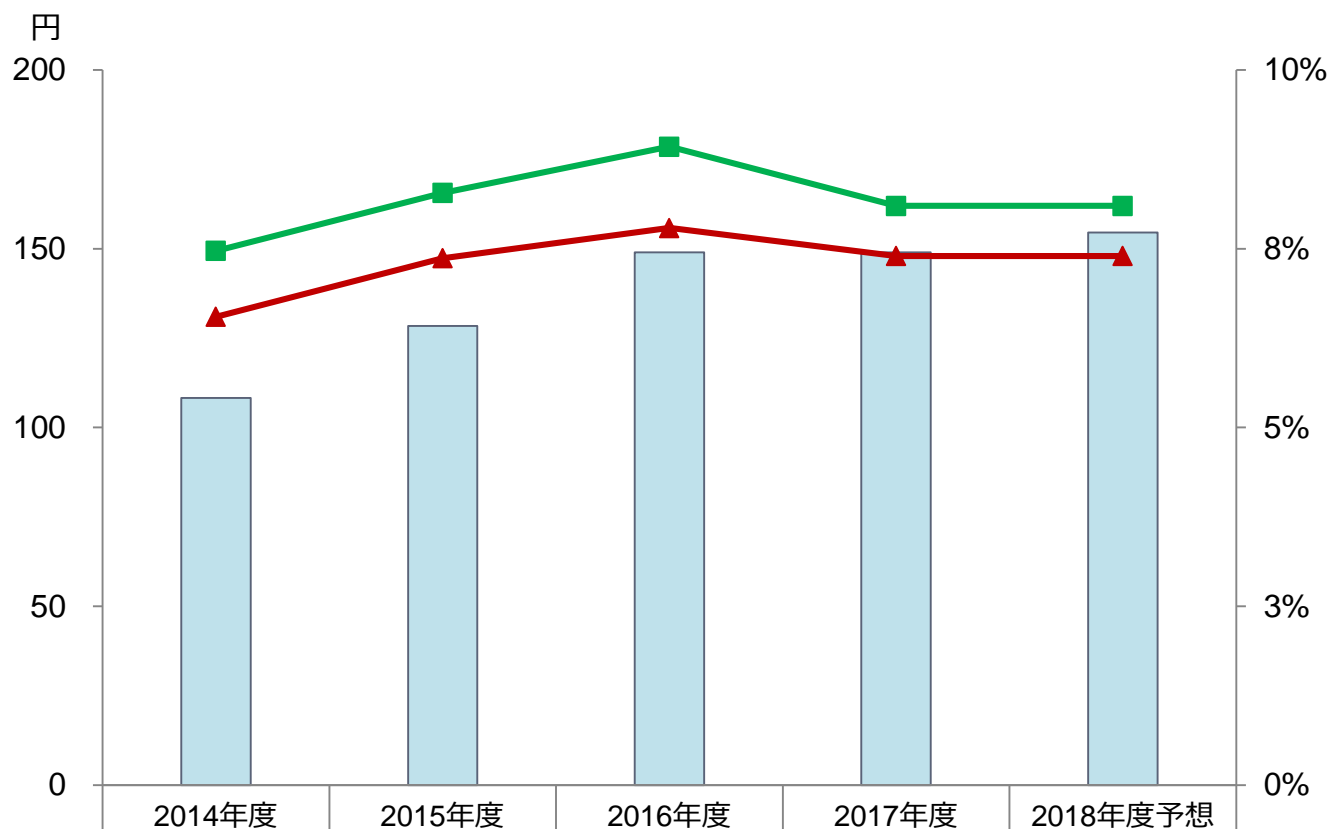
**POINT①** 投資活動によるキャッシュ・フローの支出増は、有形固定資産の取得による支出の増加が主な要因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示



## Ⅱ-1. 収益性

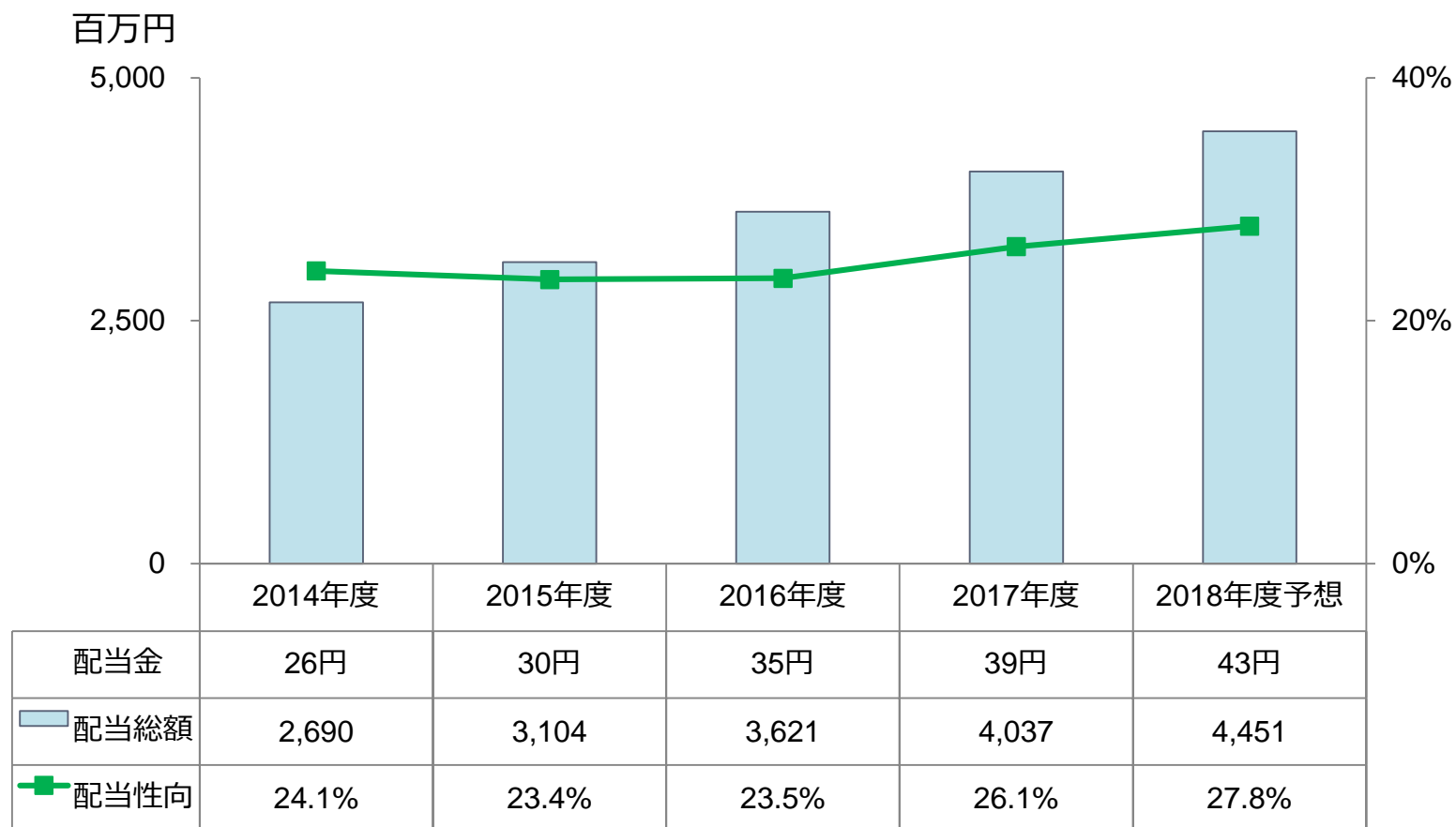
連結



注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

## Ⅱ-2. 配当金、配当性向

連結



注1) 2016年度の配当金35円には、創立100周年記念配当金5円を含む

注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅱ-3. 研究開発費

連結

百万円

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

8%

6%

4%

2%

0%

2014年度

2015年度

2016年度

2017年度

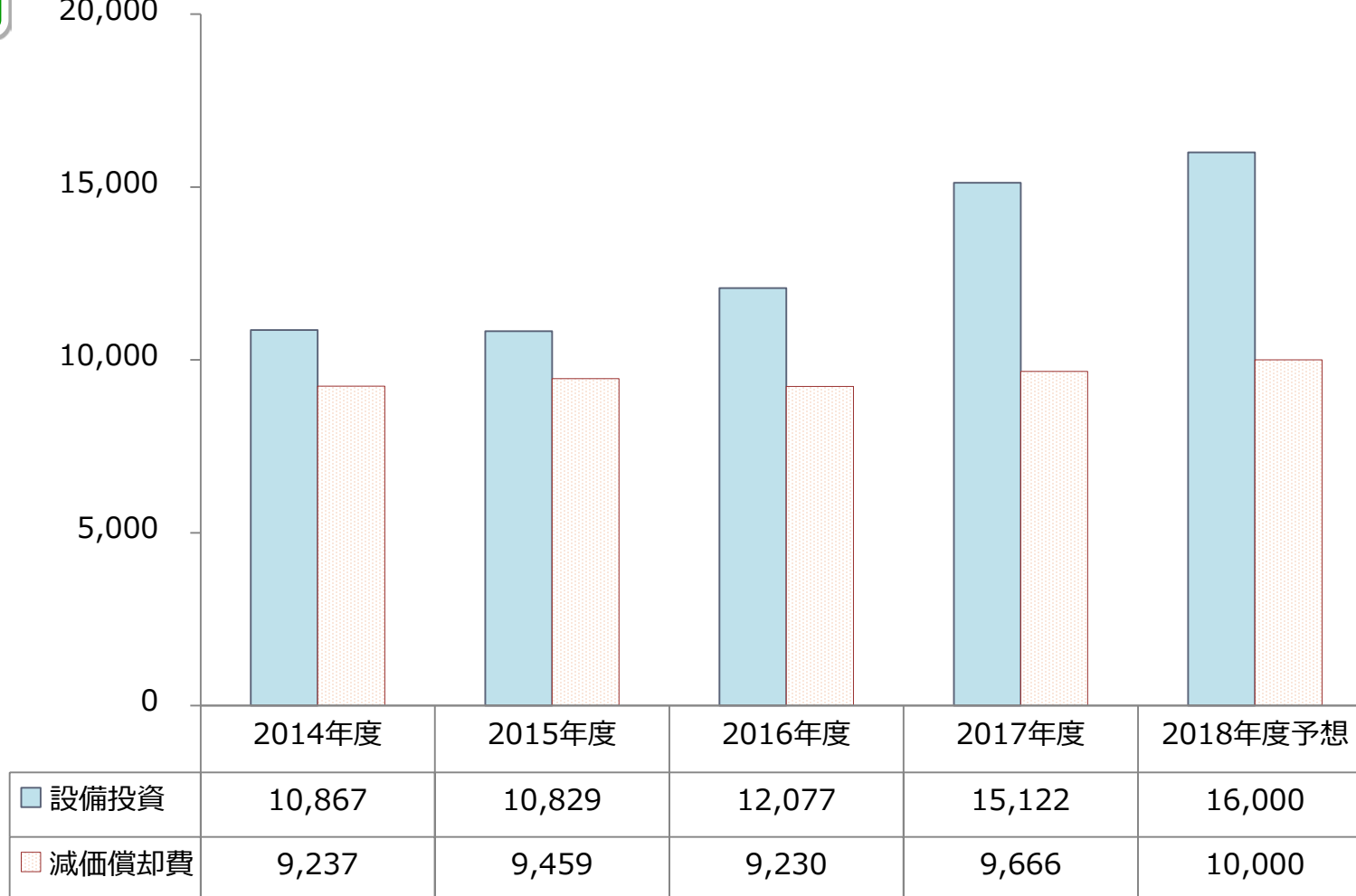
2018年度予想

■ 研究開発費	8,247	8,588	8,735	9,327	9,600
■ 売上高研究開発費比率	4.0%	3.9%	3.9%	3.9%	3.7%

注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅱ-4. 設備投資

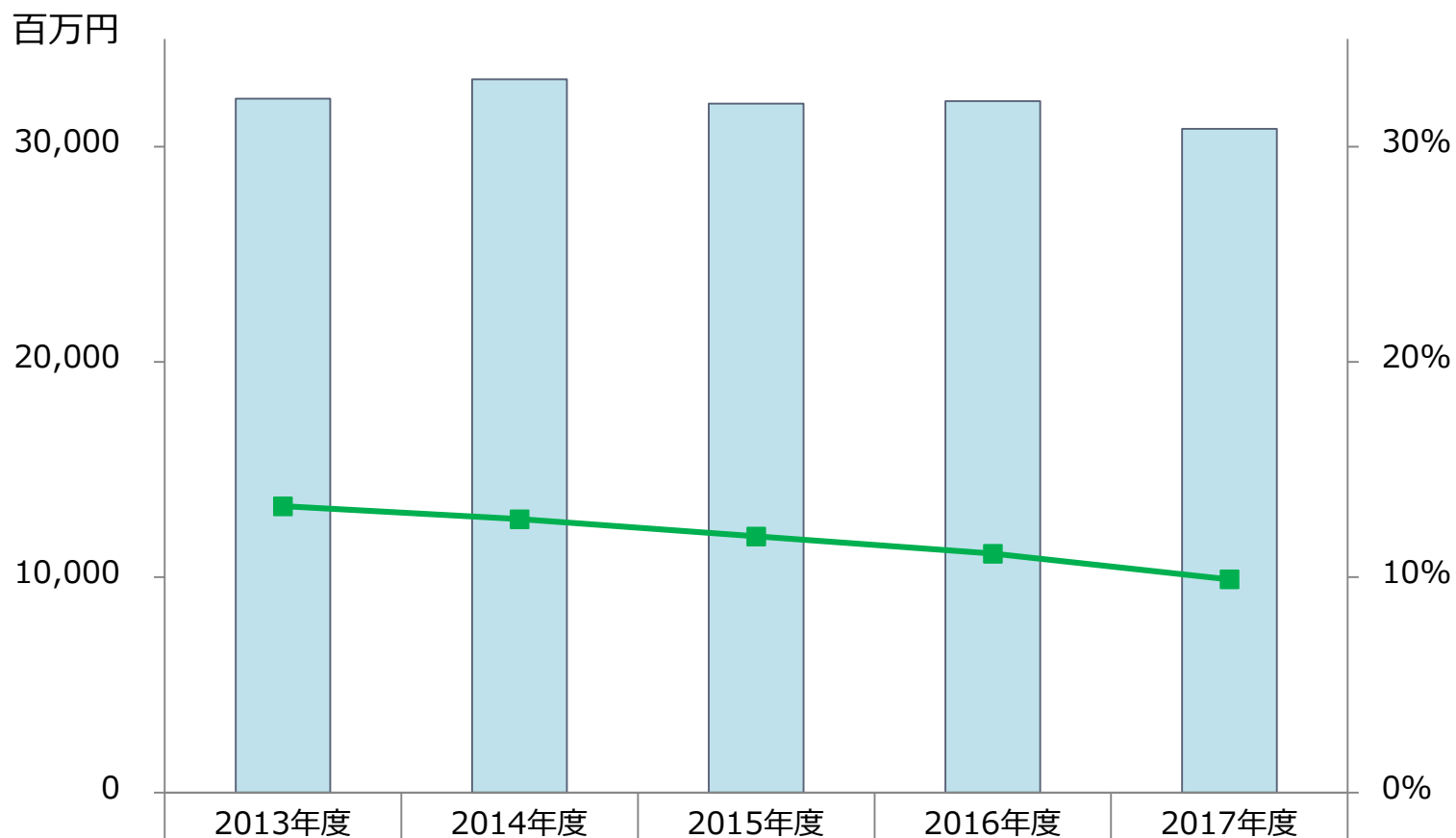
連結

百万円  
20,000

注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅱ-5. 有利子負債

連結



有利子負債

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度

2017年度

32,222

33,123

32,003

32,108

30,828

有利子負債依存度

13.3%

12.7%

11.9%

11.1%

9.9%

注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-1. 単独・連結子会社の決算概要

(単位：億円)

単独決算				
	2016年度	2017年度	増減	増減率 (%)
売上高	1,249	1,313	63	5.1
営業利益	126	130	4	3.8
経常利益	143	154	10	7.5
当期純利益	109	116	6	6.0
1株当たり 当期純利益	106.0	112.3		

国内（11社）				
	2016年度	2017年度	増減	増減率(%)
売上高	816	879	63	7.8
営業利益	17	17	△ 0	△ 1.2

海外（16社）				
	2016年度	2017年度	増減	増減率(%)
売上高	1,182	1,294	111	9.5
営業利益	73	76	2	3.4

連結調整（消去他）		
	2016年度	2017年度
売上高	△1,014	△1,090
営業利益	△ 6	△ 6

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-2. 連結子会社概要(国内11社)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
食品	(株)クラウン	10百万円	51.00	食脂、食用油など食品材料及び加工食品などの卸売業
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKALライフクリエイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-3. 連結子会社概要(海外16社)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USドル	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万ユーロ	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造・販売
中国	化学品	艾迪科(中国)投資有限公司	1,100万USドル	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造・販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	加工油脂、加工食品の製造・販売
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造・販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	化学製品の製造・販売
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造・販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	45百万RM	60.00	加工油脂の製造・販売



## Ⅲ-4. 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.61%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	20.81%	合成樹脂、化学品、産業資材、 情報電材、環境関連製品の販売

※持分法適用会社の増減はなし。

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-5. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤（核剤/透明化剤、光安定剤、紫外線吸収剤、酸化防止剤等）、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤（重合開始剤、光酸発生剤等）、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

## 業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。